

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号 20

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。		
2 評価する領域・分野	◇学校経営		
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	池田高校は、揖斐郡内・神戸町を中心に5キロ圏内より約8割の生徒が通う地域性の強い高校である。穏和な生徒が多く、保護者も学校の教育活動に協力的である。池田町や近隣地域の教育機関との連携を深め、地域創生の核となる高等学校づくりに努めている。 生徒・保護者対象のアンケート（7月実施）では、本校の教育活動に対して肯定的な評価を得ている。特に社会規範を身に付けるための指導や成長の糧となる学校行事やボランティア活動に対する評価が高い。さらなる生徒一人一人に対する指導の充実が求められている。		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇地域と連携し活力のある高校をめざす		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	• 企画委員会、各種委員会及び職員会議		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
<p>(1) 学びの挑戦 （授業改善、少人数指導、進路希望に合わせた多様な科目選択、キャリア教育等）</p> <p>(2) 部活動・学校行事・ボランティア活動の挑戦</p> <p>(3) ユネスコスクール(ESD)への挑戦 「Global Welfare（地域・国際社会の中でよりよく生きる）」をキーワードに、「福祉」、「国際」、「環境」を3つの柱としてESD（持続可能な開発のための教育）を推進</p>	<p>(1) 生徒・保護者等を対象とするアンケート結果、進学や就職等の進路状況</p> <p>(2) 生徒対象の生活アンケート（迷惑調査）結果、部活動の成績や学校行事での生徒の活動状況、地域行事への参加状況</p> <p>(3) 学校関係者評価委員会による評価、地域からの評価、ボランティア活動への参加状況</p>		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
<p>(1) 学びの挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 英数国における少人数習熟度別指導、生徒の興味関心や進路希望に応じた多様な選択科目の設定。 習熟度の高い生徒への放課後補習や土曜補習、成績不振者への補充指導等、生徒の実態に応じた学習支援。 職業別ガイダンス、学部・学科別ガイダンス、学校別ガイダンス、インターンシップ等のキャリア教育の充実。 <p>(2) 部活動・学校行事・ボランティア活動の挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会の主体的な活動や、球技大会、文化祭、体育大会、版画大会等の学校行事の活性化。 外部講師による指導の充実、化学実験室空調設置、グラウンドバックネットまわり電気設備改修、備品の整備等部活動活性化のための環境整備。 <p>(3) ユネスコスクール(ESD)への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のユネスコスクールや大垣ユネスコ協会との連携 	<p>① 一人一人の生徒の個に応じた指導と進路実現ができたか</p> <p>② 所属意識を高め、生徒の主体的活動の実現ができたか。</p> <p>③ 地域と連携しながら池田高校の方向性を明確にし、行動することができたか。</p>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p>	

<p>推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 池田町及び池田町教育委員会、保育園、小中学校、特別支援学校、福祉系専門学校や福祉施設と連携した福祉教育、国際教育、環境教育の推進。 生徒会、家庭クラブ、ボランティア会、MSリーダーズ、科学部等の生徒の活躍によるESDの推進。 	
---	--

11	成果・課題	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校は一昨年度より今年まで3年間、県教育委員会から指定を受け「岐阜県立池田高等学校活性化協議会」を設立した。協議会を年2回開催し、魅力ある活力あふれた高校づくりについて協議し、生徒の進路意識高揚や生徒募集のための様々な取組を行った。 ○ ボランティア活動の充実、池田町が主催するニュージーランド海外研修、地域の保存会と共同でハリヨの保護活動を行なう等、地域と連携しながら、ユネスコスクールとして、具体的な教育活動を展開することができた。 ○ 生徒や保護者への一斉メール配信の活用や、活発な育友会活動を進めたので、本校の教育活動への理解が深まったという評価をいただくことができた。 <p>(課題)</p> <p>▲ 学校を欠席することに関して、生徒並びに保護者の意識が変わり、ややもすると簡単に欠席することが増えつつある。できることは、やらせきることを目標に全職員で取り組み、安易な行動をさせない取り組みを今後も続けたい。</p>	<p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>
----	-------	--	------------------------------

12	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <p>地域連携による活力ある高校づくり推進事業も3年目となり、まとめの年度となった。学校と地域を強く結びつける活動を通じて、地域の魅力を知り、課題を発見・解決する学習を推進することが目標である。県として、進学・就職に際して「岐阜に留まる」、「岐阜に帰ってくる」こと目標であるが、本校においてはキャリアプランナーの採用により、地元企業との連携・調整、求人開拓などに成果が表れた。学校のICT環境整備の推進の点においては、普通教室に、大型提示装置、コンピューター、実物投影装置、無線LAN、ホワイトボードが常設された。あらゆる学習の基盤となり、情報活用能力の育成、教科指導におけるICT活用、校務のICT化による教職員の働き方改革の推進が行われることとなった。</p> <p>小・中学校では、地域を学ぶ体験活動が日常的に行われているが、高校では地域に関わる活動が弱く、地域の魅力を知り、課題を発見・解決する学習が必要とされている。池田町が主催する池田未来会議第1回ワークショップ「スタートアップカフェ」に本校2年生代表が参加した。グループに分かれ、10年後の池田町の未来を考えた。一般の方も多い中で、参加した生徒が様々な意見を出し、地域の大人の方々と協力し今後の池田町を支える者として、堂々と意見を出すことができていた。学校全体の取り組みとしてはまだ弱い、「いけだスクールフォーラム」へのキャリア教育の発表参加、池田中学校への生徒による学校紹介、さらには池本作り・池田町でのボランティア活動を通じて地道に地域とのつながりを作っていきたい。</p> <p>生徒が自ら律し、自分でできることは、やらせきることを目標に全職員で取り組み、安易な行動をさせない取り組みを今後も続けたい。加えて卒業後は、地域の様々なところでリーダーとして地域を支える社会人として期待される人材を育成していきたい。</p>
----	---

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年2月13日

【意見・要望・評価等】

- ・ 高校生になるとなかなか地域の人とふれあう機会が少なくなる(そういった場所に行きたがらない)現代だと思われるが、池田高校場合、地元の生徒が多いことや生徒が地域の行事や活動に積極的に参加してくれていることなどから、地域の方々に温かく見守られ、地域に密着し、地域と連携した学校経営が行われていると思う。また、先生方の「学校を良くしよう。」「生徒を伸ばそう。」とする熱意が伝わる学校経営で、大変嬉しく、感謝している。そのおかげで、池田高校の生徒たちは、学習面だけでなく、精神的な面においても、穏やかで、落ち着いた学校生活をおくれていると思う。
- ・ 「池田高校の5つの魅力」に学校経営がわかり易く書かれていて、大変好感が持てた。
- ・ 地域と連携し、ボランティア活動や行政の会議など積極的に参加している様子がうかがえ、地域に根ざした学校となっている。

- ユネスコスクールに認定されたことにより、生徒たちの自信が益々付いていると思う。
- スタディサプリを活用して学び直しから、学力伸展まで工夫・努力しておられる。